

農業技術短報

No. 63, 2008. 8
三重県農業研究所
三重県畜産研究所



【作物研究の成果】

コシヒカリの疎植栽培	2
畦畔から侵入する水田雑草「アシカキ」の抑草方法	3
多収・高品質で精米適性の優れる酒造好適米新品種「神の穂」	4
酒造好適米「神の穂」の奨励品種採用と多収・高品質栽培法	5
摘心による大豆「フクユタカ」無中耕無培土栽培の生産安定	6
納豆加工向けダイズ「すずおとめ」の奨励品種採用	7
【茶研究の成果】	
出開度からみた「みえうえじま」の一番茶摘採適期	8
チャノホソガ三角巻葉混入割合と荒茶品質との関係	9
乗用型摘採機による踏圧の影響とサブソイラによる土壌物理性改善効果	10

【循環・土壌肥料研究の成果】

近赤外分光法を用いた生ごみ堆肥の脂質含量の測定	11
-------------------------	----

【畜産研究の成果】

自給粗飼料主体ロール発酵TMRの調製および泌乳牛への通年給与	12
霜降り豚肉生産技術の開発	13
低リジン飼料で生産した霜降り豚肉の肉質	14
温州みかん残渣飼料添加による高β-クリプトキサンチン鶏卵の生産	15
〈お知らせ〉	
組織再編について・西山農業祭りを開催しました	16

農業研究所として再スタート

農業研究所 所長 横山 幸徳



皆様には、農業研究の推進に平素からご支援・ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。「三重県科学技術振興センター農業研究部」として10年経過し、本年4月の組織の改正によりまして「三重県農業

研究所」へと名称を変更し、新たにスタートしますので今後も引き続きよろしくごお願い致します。

近年の安全で安心な農産物の安定供給・自給率の向上、国内の産地間競争に対する競争力強化、環境問題、さらには原油価格高騰対策等を背景として、農業に求められる多くの諸課題を解決するためには、革新的な技術開発と迅速な技術移転・普及が重要になってきています。

農業研究所は、「県民しあわせプラン・第二

次戦略計画」を推進するために、「産業振興への貢献」「環境創造への貢献」および「健康・安心への貢献」の3つを基本的な目標として、県民（消費者、農業者、農業関係団体）の視点に立った農業を支える技術開発を推進していきます。

さらに、研究機関として県民との双方向コミュニケーションを重視するとともに、産学官交流や共同研究を推進し、地域ニーズの解決に貢献します。

そのため、日常業務において、職員一人一人が、常に「誰のため」「何のため」「何を」「いつまでに」目指すのかを念頭におき、「元気な職員」・「活力ある職場」として積極的に取り組んでまいりますので、関係各位のご意見・ご要望をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

三重県農業研究所

〒515-2316 三重県松阪市嬉野川北町530
TEL 0598-42-6357 FAX 0598-42-1644
<http://www.mate.pref.mie.jp/marc/>

三重県畜産研究所

〒515-2324 三重県松阪市嬉野町1444-1
TEL 0598-42-2027 FAX 0598-42-2043
<http://www.mate.pref.mie.jp/livestock/>